

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	健康増進施設整備事業(ほっ湯アップル)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	保健福祉部	課等名	保健課		包含する細々目	1	4	1	1	22	1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり												
施策	31 心と体の健康づくり												
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	18	年度～	18	年度							
												新市建設計画(17-18) 当面する合併後の主要事業(第一段階分)	
												関連計画 条例等	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	温泉・プール(ほっ湯アップル)と一体となった多目的施設	温泉・プールと一体となった多目的施設の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	1	
		増築面積(m <sup>2</sup> )	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			-
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	一般浴槽・プールと多目的施設等施設を有効利用することで市民の健康づくりに役立てる。	温泉・プールと一体となった多目的施設の数	18目標	1	最終目標	-	18
			18実績	1	19目標	-	↑
		23目標	-	23実績		最終目標達成年度	
		年間利用者	18目標	140000	最終目標	未集計	
			18実績	121554	19目標	141000	↑
			23目標	142000	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市健康増進施設「ほっ湯アップル」の増築施設整備内容 現在狭隘である休憩室(20畳)の増築 健康を維持又は増進を図る多目的ホール等(会議室含む。)の増築 増築に伴う内部改装 露天風呂の拡張整備	18年度の実績 露天物の改修、かけ流し浴槽男女各1槽新設 休憩室の増設(20畳) 多目的ホール、研修室(会議室の新設)260m <sup>2</sup> 太陽光発電設置(20キロワット)を整備した。(18年10月1ヶ月間休館) 建物全体の増築面積は439.26m <sup>2</sup> であった。施設改築工事費129,958千円 太陽光発電設置23,100千円 設計委託6,799千円 その他費用 10千円	温泉・プールと一体となった多目的施設の数	1
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	10,951	
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	106,800	
	その他		
	一般財源	42,116	0
事業費計(A)	159,867	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,430	0
	トータルコストA+B	161,297	0

特定財源内訳や補足事項	合併特例債充当率95%(100,000,000円建築 設計監理・事務費10,000,000円) 予定で実績66%(95%*70%起債)
-------------	---

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	休憩室などが広がることで、ゆったりと過ごして頂くことができる。憩いの場が広がり、利用者増となる。また、多目的施設の有効利用により、保健予防事業や介護予防事業実施の場となり、心と体の健康づくりができる。	年間利用者数(人)	現状値	142500人	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	集計中
	利用者アンケートによる施設に対する満足度・健康度(満足している/アンケート総数*100%)	現状値	未実施	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		90%以上	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
「ほっ湯アップル」の管理運営をしている(株)飯田健康温泉役員会で休憩室が狭隘のため増築してはとの意見が出された。	土地確保(竜水園)に制限などあり難しい問題もあったが、約3,000㎡の借りている土地の中で増築部分は対応することができ、整備事業ができた。	地区及び市民からの要望が高く、また地区議員からも多目的施設の建設促進の意向が高い。整備事業後には利用者からとても良くなったと意見が相次いだ。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)。	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 18 具体化	18年度に増改築を完成
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	